（2026 年度用）

学位審査出願の手引き（修士）

滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程／博士前期課程

本課程において学位（「修士（看護学）」）の授与を受けようとする者は、あらかじめこの手引きを熟読し、遺漏のないように留意して手続きすること。

1. 学位出願・審査・授与の流れ

論文題目等調査	出願予定の方は、事前に回答する 【調査実施時期】 第 1 回　2026 年 5 月下旬　／　第 2 回　2026 年 12 月中旬 ※詳細な日程・方法等は学務課大学院教育支援係から連絡があるので、必ず確認すること
▼	
学位審査出願	出願資格を満たした上で、出願期間内に必要書類を提出する **出願締切** **第 1 回　2026 年 6 月 19 日 17 時** **第 2 回　2027 年 1 月 21 日 17 時** **※郵送不可** ※提出後に書類の不備等が見つかった場合、学務課大学院教育支援係から連絡があるので、都度対応すること
▼	
出願受理可否決定	大学院委員会における資格審査・論文審査を経て、出願が受理される
▼	
研究発表会準備	研究発表会で使用する資料(スライド)の作成等を行う
▼	
研究発表会	修士論文の内容について発表・質疑応答を行い、口頭試問を受ける
▼	
学位授与決定	大学院委員会における審議を経て、学位の授与が決定される
▼	
学位授与	学位「修士(看護学)」の授与決定通知を受け、学位授与式に出席する
図書館への論文納本	本学附属図書館への修士論文納本手続きを行う

上記にかかる詳細な日程・各種出願書類の様式は、本学 HP にて確認すること。
https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/application-for-degree
（本学 HP トップ≫教育・学生支援≫教育≫学位申請≫看護学専攻修士課程・博士前期課程）

2. 学位審査（修士）出願資格

学位審査（修士）に出願できるのは、本課程の最終学年に在学し、所定の単位を修得した（あるいは修得する見込みである）者で、かつ必要な研究指導を受けた者とする。所定の単位については、履修要項等で確認すること。

3. 学位審査（修士）出願

学位審査出願手続きとして、下表の必要書類を出願締切日までに学務課大学院教育支援係（学務課３番窓口）に提出すること（出願締切日は「**1. 学位出願・審査・授与の流れ**」を参照)。必要書類は下表の a～q（**太字**は全員提出必須。細字は該当者のみ提出すること）とし、作成の際は「**4. 必要書類準備の際の留意点**」を参照し、下表右のとおりにまとめ、b~h、k~q をクリアファイルにまとめたもの（１部）と a、f~j を紙製フラットファイルに綴じたもの（4 部）を提出すること。郵送による出願は不可とする。

所定様式のダウンロードはこちら：
https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/application-for-degree
（本学 HP トップ≫教育・学生支援≫教育≫学位申請≫看護学専攻修士課程・博士前期課程）

提出書類

		1冊にまとめる	4冊にまとめる
a	**表紙**		**4 部**
b	**修士論文審査願**〔所定様式〕	**1 部**	
c	承諾書〔所定様式〕　※修士論文が共著論文である場合	1 部	
d	**履歴書**〔所定様式〕	**1 部**	
e	**修士論文の利益相反申告書**〔所定様式〕	**1 部**	
f	**論文目録**〔所定様式〕	**1 部**	**4 部**
g	**論文内容要旨**〔所定様式〕	**1 部**	**4 部**
h	自己担当部分についての報告書　※修士論文が共著論文である場合	1 部	4 部
i	**修士論文(a と同じものを表紙に付すこと)**		**4 部**
j	参考論文(a に準ずるものを表紙を付すこと)　※ある場合		4 部
k	倫理審査委員会審査結果通知書(写)　※倫理審査委員会で協議された場合	1 部	
l	研究倫理委員会の審査について(結果通知)(写)　※研究倫理委員会で協議された場合	1 部	
m	動物実験承認書(写)　※動物実験委員会で協議された場合	1 部	
n	動物生命科学研究審査結果通知書(写)　※動物生命科学研究倫理委員会で協議された場合	1 部	
o	遺伝子組換え実験計画の承認について(写)　※遺伝子組換え実験安全委員会で協議された場合	1 部	
p	その他 k～o に関する説明書　※必要な場合	1 部	
q	**学位論文提出チェックシート【看護学専攻修士課程／博士前期課程用】**	**1 部**	

4. 必要書類準備の際の留意点

「**3. 学位審査（修士）出願**」に記載されている必要書類を準備する際は、以下の点に留意すること。本学 HP では各種書類の記入例を公開しているので、必要に応じて参照すること。なお、提出用の書類を綴じる順番は、**3.** の表で書類名の左に記載されたアルファベット順とする。受理した書類は返却しないため、出願時に適宜写しを取っておくこと。

提出書類

a　表紙

以下のとおり作成し、フラットファイル 4 冊の前面に貼付及び、
修士論文・参考論文にも付すこと。

ア　修士論文・参考論文の別を明記すること。

イ　題目は、論文の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、論文が外国語の場合は外国語で記載すること。外国語の題目には、() 書きで和訳を付すこと。題目中の略語は、原則ごく一般化されたもののみ使用可能。副題を付けてもよいが、できるだけ簡潔なものにすること。

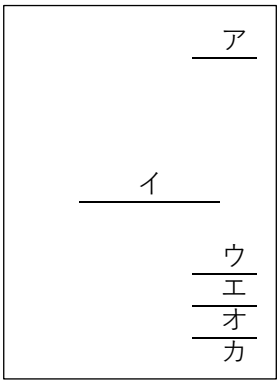
ウ　「滋賀医科大学大学院医学系研究科」と記すこと。

エ　専攻・コース部門を記すこと。（例：看護学専攻博士前期課程〇〇コース〇〇部門）

オ　指導教員名（例：指導教員　〇〇　〇〇 教授）

カ　学位申請者氏名（例：学位申請者　〇〇　〇〇）

↓表紙のイメージ



c　他の共著者の承諾書〔所定様式〕

修士論文が複数の著者による共著論文である場合は、必ず共著者全員分の承諾書（原本に限る）を添付すること。

d　履歴書〔所定様式〕

- 氏名は、戸籍抄本どおり記載し、通称・雅号等一切用いないこと。他の提出書類に旧姓を記載した書類がある場合は、姓の後に続けて（）書で旧姓を付記すること。
  例）「滋賀（大津）　びわ子」　※新姓が「滋賀」、旧姓が「大津」
- 現住所は、大学に届けている住所と一致させること。
- 最下行の氏名は、必ず自署すること。
- 学歴は、大学入学以後の学歴を年代順に（上から古い順に）記載すること。
- 内容に誤り（漢字、つづり、卒業日、退職日等）のないよう、十分確認して作成すること。

f　論文目録〔所定様式〕

- 論文題目が外国語の場合は、() 書きで和訳を付すこと。
- 修士論文及び参考論文の公表が予定されている場合は、その旨を記載すること。
- 「参考論文題目」欄には、参考として添付する他の論文を列記すること。参考論文とは、下記「j　参考論文」を参照すること。

g　論文内容要旨〔所定様式〕

- 要旨は、研究の目的・方法・結果・考察・総括の順に区分して要約すること。
- 要旨は、1,200 字程度（1,100～1,300 字）とすること。
- 論文題目が外国語の場合は、() 書きで和訳を付すこと。

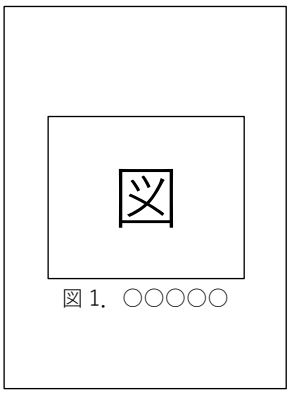
h　自己担当部分についての報告書

修士論文が共著の場合は、自己担当部分についての報告書に論文作成の過程において自らが担当した部分及び共著者各人が担当した部分について取りまとめ、出願者がその研究において中心的な役割を果たしたことを明確にすること。

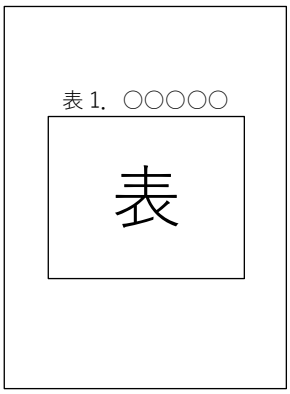
i　修士論文

- 原則単著とし、1 編作成すること。
- 論文が共著の場合は、以下の 3 つの条件を満たしていること。
  - 出願者が筆頭著者であること。
  - 他の共著者から当該論文を修士論文として使用しても差し支えない旨の承諾を得ていること。
  - 他の共著者が当該論文を学位論文として使用しない旨の承諾を得ていること。
- 論文の本文は、以下のとおり作成する。ただし、既に学術誌等に掲載されている場合は、その写しでよいものとする。
  - 使用する用紙は、修士論文が日本語の場合は A4 判縦（約 21cm×30cm）、外国語の場合は国際判（約 22cm×28cm）又は A4 判縦（約 21cm×30cm）とすること。
  - 各用紙に頁数を付し、目次をつけること。
  - 1 頁は 40 文字×30 行（1,200 字）程度とし、上下左右の余白は 30mm とすること。
  - 提出する修士論文 4 部のうち 1 部は原本、他は副本とし、副本は原本のコピーでもよい。
  - 副本の写真は、原本同様にオリジナル・プリントを使用すること。
  - 図表がある場合は図表の目次を別に作成し、図・表とともに本文の最後にまとめて付けること。なお、図・表とも 1 頁に 1 つ中央に配置し、タイトル（図は下、表は上）を付けること。

↓図がある場合のイメージ



↓表がある場合のイメージ



  - 修士論文は、提出後の修正が認められないため、慎重に推敲の上、完成したものを提出すること。

j　参考論文

参考論文とは、論文を作成した際に参考にした文献ではなく、修士論文の他に、出願者が筆頭著者となり、「参考として作成した論文（＝修士論文の前段階にあたる論文）」のことを指す。なお、上記にあてはまる論文がない場合は、参考論文なしとなり、提出は不要。

5. 出願受理可否決定通知

提出された書類一式をもって、本学大学院委員会にて出願資格が審議され、出願受理可否が決定される。出願受理可否通知は、学務課大学院教育支援係から出願者へメールにて送付される。なお、出願受理可否については、同係から出願者の指導教員にも通知される。

6. 研究発表会準備

「**7. 研究発表会**」で使用する発表資料を下記のとおり作成する（提出は不要）。

使用ソフト：PowerPoint

作成様式：最初のスライドで学位論文に関する利益相反（COI）を開示すること（作成例あり）。
それ以外は、すべて（スライド縦横比等）自由。

7. 研究発表会

提出した学位論文の内容について発表・質疑応答を行い、口頭試問を受ける。研究発表会における各発表者の持ち時間は、以下のとおり。

研究コース　：50 分（発表 20 分、質疑応答 10 分、口頭試問 20 分）
高度実践コース・看護管理コース：30 分（発表 15 分、質疑応答 5 分、口頭試問 10 分）

また、発表の冒頭にて、必ず学位論文に関する利益相反（COI）を開示すること。

なお、発表には自身の PC ないし学務課の PC を使用すること。自身の PC を使用する場合は、不測の事態に備えて、発表資料の PowerPoint データを保存した USB メモリを持参すること。

研究発表会における評価の観点は、以下のとおり。

（参考）学位論文（修士）審査の判定基準

1	独創性（研究コースのみ）
2	研究の背景・目的・意義は明確か
3	研究方法は最適か
4	倫理的配慮が十分なされているか
5	結果の解析や考察は適切か
6	今後の研究の発展性、看護領域への貢献性はあるか
7	論文発表の方法、質疑応答の適切さ

8. 学位授与決定

研究発表会後、審査委員による審査結果をもとに学位授与可否が決定され、出願者に授与可否通知メールが届く。学位授与が決定した者には学位授与式の案内も送付されるので、授与可否通知と併せて確認すること。

9. 学位授与（学位授与式）

「**8. 学位授与決定**」の際に届く案内を確認の上、学位授与式に出席し、学位記を受け取る。
やむを得ず学位授与式を欠席する場合は、学務課大学院教育支援係に事前連絡し、学位授与式開催日以降に学務課３番窓口にて学位記を受け取ること。
学位の種類は「修士（看護学）」である。
なお、学位授与を受けた際の修士論文は、その内容要旨が本学ホームページにて公表される。

10. 図書館への論文納本

本学附属図書館に学位論文を納本する手続きについては、別途、総務企画課看護学科事務係より連絡があるため、その指示に従って手続きを進めること。

本手引きの内容は、滋賀医科大学学位規程及びその他詳細な手続上の取り決めに基づくものである。また、本内容は予告なく変更する場合があるため、各段階で学務課から出願者に届く案内メールを必ず確認すること。

〔本件担当〕
滋賀医科大学　学務課大学院教育支援係
電　話：077-548-2095・2096
メール：hqgs@belle.shiga-med.ac.jp